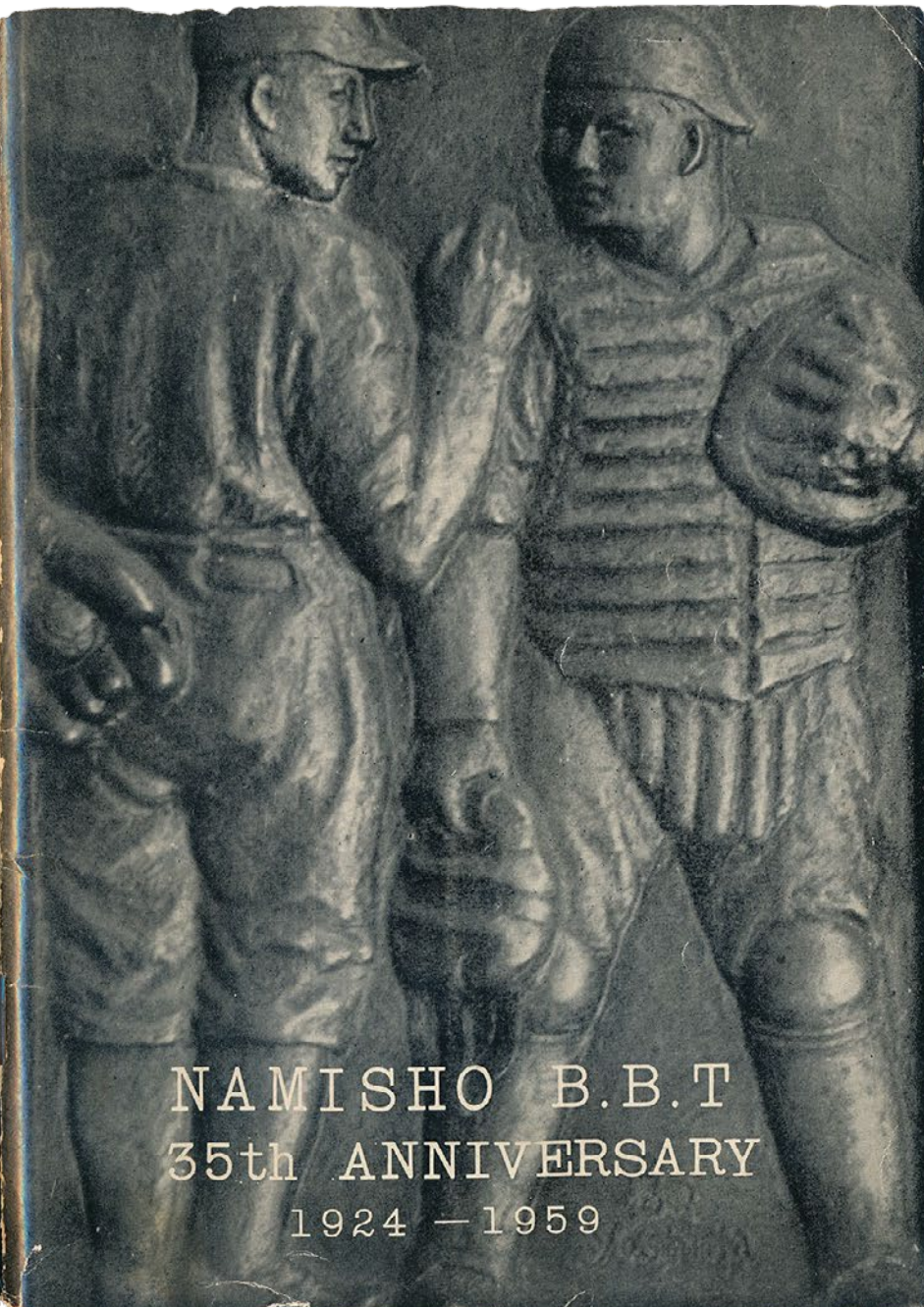


浪商 野球部

創設35周年記念



大正十三年—昭和三十四年



NAMISHO B.B.T
35th ANNIVERSARY
1924 — 1959



校舎正面（昭和三十四年現在） ・ 校章



校歌

一
茅渚の浦曲ゆ 朝風の
大和広野に 吹き満てば
玲瓏淀の 水澄みて
生氣溢るる 我が母校

二
茲に集える 若人の
胸に希望の 高鳴りや
真理の教訓 窮めんと
勤しみ励む 朝な夕

三
理想は清く 澄む月を
かぎす桂も 手折らばや
平和の覇者と 後の世に
語り継ぐべき 名を立てん

四
芦の葉風に 夢醒めて
闊する年の 百千歳
その名もゆかし 難波津に
咲くこの花と 匂えかし

多文芸部
忠亮作
亮作詩

全國大会及近畿大会出場一覧表

| 出場年月 | 主催者 | 大会名称 | 球場 | 戦績 | 備考 |
|---------|---------------|-----------------|-----|--|------|
| 大正15年8月 | 朝日新聞社 | 第12回全国中等学校優勝大会 | 甲子園 | 大連商3-2本 | 校 |
| 昭和5年8月 | 同上 | 第16回全国中等学校優勝大会 | 同上 | 広島商14-4本 | 校 |
| 昭和7年3月 | 大阪毎日新聞社 | 第9回全国選抜大会 | 同上 | 本和校3A-1本 | 分商校 |
| 昭和8年3月 | 同上 | 第10回全国選抜大会 | 同上 | 本和校5A-3本 | 山口中校 |
| 同年8月 | 朝日新聞社 | 第19回全国中等学校優勝大会 | 同上 | 本明石中4A-0本 | 本 |
| 同年10月 | 近畿二府四県体育聯盟 | 第2回近畿二府四県中等学校大会 | 藤井寺 | 本中校4A-1本 | 本 |
| 同年11月 | 文部省 | 第7回神宮体育大会 | 戸塚 | 本中校4A-0本 | 本 |
| 昭和9年3月 | 大阪毎日新聞社 | 第11回全国選抜大会 | 甲子園 | 本本本本本本 校校校校校校 4-3中神京 0-1享一商 4-2享栄商 2A-1本 | 準優勝 |
| 昭和10年3月 | 同上 | 第12回全国選抜大会 | 同上 | | 出場辞退 |
| 昭和11年3月 | 大阪毎日新聞社 | 第13回全国選抜大会 | 同上 | 松山商1-0本 | 校 |
| 同年5月 | 近畿二府四県体育聯盟 | 第5回近畿二府四県中等学校大会 | 緑ヶ丘 | 本本本本本本 校校校校校校 2-2滝川中 2A-0滝川中 2A-1海草中 8A-3平安中 1A-0育英中 | 優勝 |
| 昭和12年3月 | 大阪毎日新聞社 | 第14回全国選抜大会 | 甲子園 | 本本本本本本 校校校校校校 7A-0和歌山 4A-0下関商 6A-1徳島商 2-0中京商 | 優勝 |
| 同年8月 | 朝日新聞社 | 第23回全国中等学校優勝大会 | 同上 | 平安中4A-3本 | 校 |
| 昭和13年3月 | 大阪毎日新聞社 | 第15回全国選抜大会 | 同上 | 本本本本本本 校校校校校校 4A-3横濱中 8-8滝川中 9A-8滝川中 邦商5-3本 | 校 |
| 同年5月 | 近畿二府四県体育聯盟 | 第7回近畿二府四県中等学校大会 | 藤井寺 | 海草中5-1本 | 校 |
| 昭和14年3月 | 大阪毎日新聞社 | 第16回全国選抜大会 | 甲子園 | 東邦商20-1本 | 校 |
| 昭和15年4月 | 近畿二府四県体育聯盟 | 第8回近畿二府四県中等学校大会 | 和中庭 | 海南中7-6本 | 校 |
| 昭和21年8月 | 全国中等学校連盟朝日新聞社 | 第28回全国中等学校優勝大会 | 西宮 | 本本本本本本 校校校校校校 11-2和歌山 6-0函館附 9-1東京附 2A-0京中 | 優勝 |
| 同年9月 | 近畿二府二県体育聯盟 | 近畿二府二県中等学校選抜大会 | 藤井寺 | 本本本本本本 校校校校校校 4-0関北中 7-0北京中 5A-1京中 | 優勝 |
| 同年11月 | 文部省 | 第1回国民体育大会 | 同上 | 本本本本本本 校校校校校校 9-1松本市中 10A-2和歌山 校8-3東京附 | 優勝 |

編集・解説 杉本藤次郎

(上) 全国高等学校野球選手権大会優勝旗(旧旗)

(下) 同右大阪大会優勝旗



大正十三年の創部、秋には(二〇・一七)初の対校試合を次木中と戦い、予想を裏切って9-4の敗、天狗の鼻は折られた。翌年大阪中等学校野球連盟に加入、緒戦で堺中に21-5の大敗を喫した。未熟の技倆を自覚した選手の要請で、同年の冬季休暇に旧知の梅田三次郎・鶴田源吉(明星-明大)二氏を煩して、寝屋川球場で一週間に亘り徹底的に厳格な指導をうけた。これが心技両面に多大なプラスとなったことは否めない。

越えて大正十五年、予選大会出場二年目で計らずも大阪代表となったから、彗星的出现と評された。吉相・中田の草分け選手を主軸とする僅か十二、三名の部員は、校庭が手狭のため広場を求めて、南方から神崎川に移ったが、双方ただの原っぱで、練習はしかし熱心に毎日続けていた。尤も何時の日にも甲子園出場が叶い、更に全国優勝が成就するか、当時の私は夢想だも



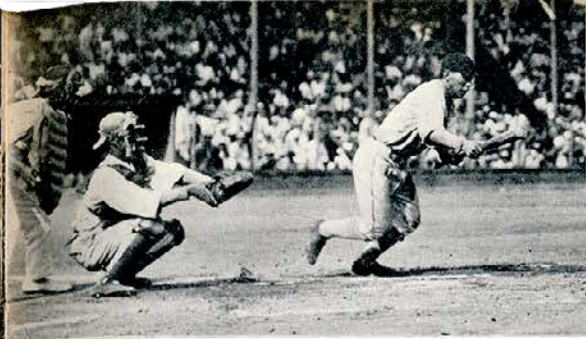
せなかったし、事実なし得なかった。鍛えも徹す桑の弓やはり念力はおそろしい。

→ 全国選抜中等学校野球大会優勝旗(旧旗)
優勝記念カップ(肥後府連盟賞、その右東京六大学寄贈杯)





同 右
九回、若林のサヨナラ安打に形勢逆転、優勝の刹那、歓喜感激のナイン（前面右端に手をかざしているのは吉相主将、その奥、雀躍スタイルは杉本部長、左端伊丹、右小谷）



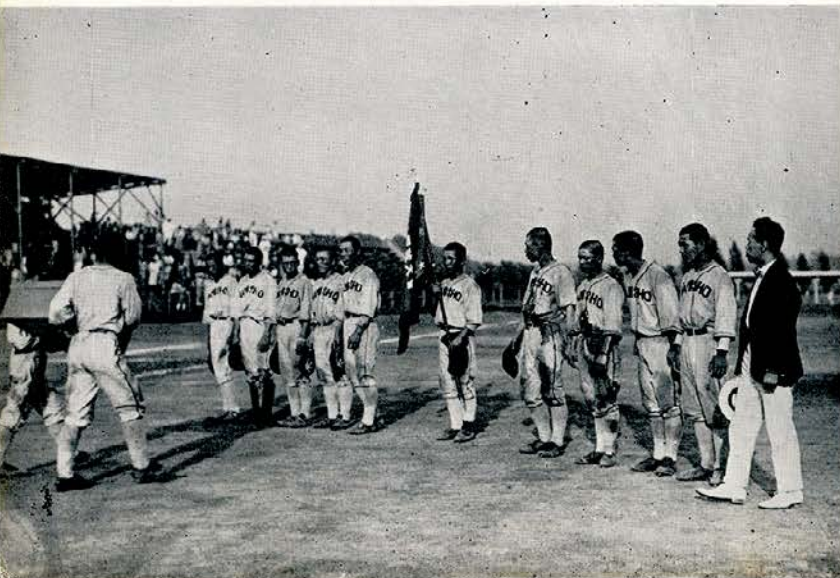
大阪予選大会・高津中学優勝
戦（大正一五・八・五）
← 若林のバント（捕手前田、球審加藤吉兵衛氏）



同上
二回、小谷の右中間三塁打に田中生還、差一点に迫る。
— 寝屋川球場

優勝表彰式（寝屋川球場）

（右より）杉本部長、宮浦、田中、中野、田淵、吉相主将、小谷、岡、伊丹、吉田、大西、楯箱を運ぶは若林、中田



殊勲の優勝投手中田光治君

全国大会大阪予選優勝の足あと

扇町商（第一次リーグ戦第一回）9対0
七回コールドゲームの快勝。1打り出し上乗である。
住吉中（同第二回）2-1
住中岡田投手の好投で四回僅かに一点をあげ、押切れるかに見えたが、最終回二点を叩き出される不覚の敗。
福島商（同第三回）23-2
発奮のナイン、打ち捲って五回のコールドゲーム。
住吉中（リーグ戦同率決勝戦）3A-2
技伯仲、両軍投手好投ナイン善戦、延長十一回、凱歌は本校に上った。
豊中中（第二次戦）7A-4
七回まで4-4の均衡。八回の3点に追撃の手を断った。
八尾中（準決勝戦）12-7
優勝候補を迎えて玉砕の意気当り、八尾高加藤投手をよく攻めて予想外の大勝。
高津中（優勝戦）4A-3
九回表まで3-2のリードをうける難航が、同裏執拗の攻撃は遂に逆転成功。（写真参照）



大連商業戦(甲子園)
—大正一五・八・一四—
七回、本校中野、岡の安打に生還、
同点となる。(大連桜井捕手、球
審浅沼氏)



母校に栄冠を飾る(第一校舎玄関)
(前列左) 田中、岡、中田、中野、
伊丹、宮浦
(後列) 徳永校長、吉相、小谷、田
淵、吉田、若林、本田、杉本部
長、山下教諭



瀧宮(現三笠
宮)始球式
(昭和三、
一、二七)

柳井早賽
No. 1004 August 15, 1927
SHIMIZU

本社 全國中等學校優勝野球大會 第二日

骨を徹す炎天下に

展開される好試合

若槻首相を迎へて

大會氣氛高潮す

本大会は二日、東京市立第一高等學校野球場に於て、第二日、即ち八月十四日(大正一五・八・一四)の朝、八時半開演の好試合が展開され、炎天下に展開される好試合、若槻首相を迎へて、大會氣氛高潮す。

本大会は二日、東京市立第一高等學校野球場に於て、第二日、即ち八月十四日(大正一五・八・一四)の朝、八時半開演の好試合が展開され、炎天下に展開される好試合、若槻首相を迎へて、大會氣氛高潮す。

本大会は二日、東京市立第一高等學校野球場に於て、第二日、即ち八月十四日(大正一五・八・一四)の朝、八時半開演の好試合が展開され、炎天下に展開される好試合、若槻首相を迎へて、大會氣氛高潮す。

本大会は二日、東京市立第一高等學校野球場に於て、第二日、即ち八月十四日(大正一五・八・一四)の朝、八時半開演の好試合が展開され、炎天下に展開される好試合、若槻首相を迎へて、大會氣氛高潮す。



香西投手(昭和二・三年)の
ピッチング



台覧記念旗を中心に(東京日本
青年会館屋上)
(前列左) 菊池・小谷、(後列)
左 香西、酒井、楠本、田中、
谷本、山本、西田

戦況を詳報した朝日新聞(大正一五・八・一五)

第十二回全國中等學校 野球大會參加章

(大園貞誠作)



昭和三年度チーム(校庭で)
杉本部長、岡原マネージャー、楠本、西
田、竹田、香西、酒井、小谷、山本、菊
池、宮城、馳川、谷本、細川、福田マ
ンネ、シャリー

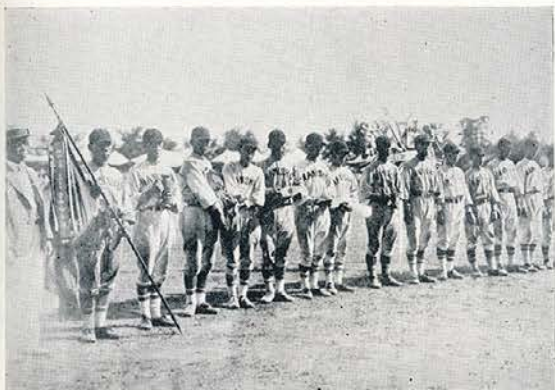




第十六回全国中等学校野球大会参加章(日名子実三作)

昭和五年の大阪予選では優勝候補校の市岡(準々決勝)明星(準決勝)八尾(決勝)を一手に引受け退ける、名実兼備の優勝であった。自然、甲子園での興味と期待がかけられたが、緒戦に広商(同年全国優勝)に対して、14-4のあっけない惨敗に顔色がなかった。

敗戦投手の納家はその後奮起一番、昭和七年の選抜大会に初出場、翌八年にも連続出場で、御園生投手(後、阪神)の山口中に快勝し、剛球楠本投手の明石に屈した。



昭和五年度大阪予選優勝(寝屋川球場)
杉本部長、中根主将、新居、則包、川合、中島、清水、湯川、成瀬、松田、沈、北浦、中村、納家、玉置、岡田



昭和五年度チーム
(前列左) 岡村、川合、岡田、真野、楠本(弟)
則包、湯川、成瀬、沈、北浦
(後列) 松田、中村、中島、清水、新居、中根、杉本部長、小谷(以下旧メンバー)
酒井、西田、谷本、馳川

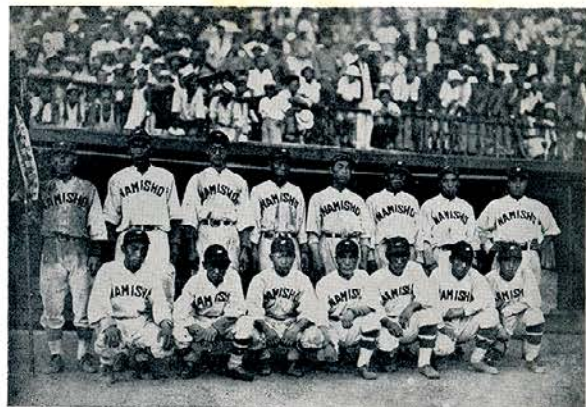


ラインアップ発表(第十回全国選抜大会第一回戦)甲子園 昭八・四・一
当時はこんな掲示板を場内に持ち廻ったのである(編者撮影)

外野に集結の精銳(昭八・三・二七)
選抜大会入場式国旗掲揚直前(同上)

我等は勝てり(本校 5A-3 山口中)
北浦捕手、中村、納家、常念、野村、松広、鳥丸、善斎、樋上、平占場、平井、井上、柳畑、水坂、畑

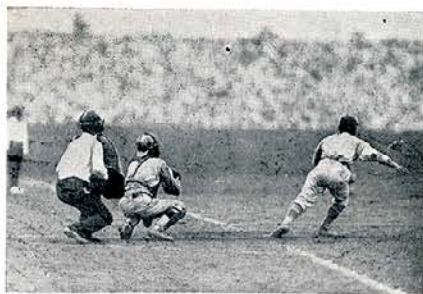




昭和八年度大阪予選優勝
 (前列左) 樋上、水堀、輝畑、善斎、野村、馬淵、常念(後列) 北浦、中村、納家、畑松、平古場、平井、鳥丸
 藤井寺球場



第十九回全国中等学校優勝大会参加章
 (松田尚之作)



松広の三塁打(第一回戦・盛岡)
 甲子園 一昭八・八・二三



鳥丸の好走に先取得点
 (第二回戦・中京商)一昭八・八・一七
 三回、平井の安打に鳥丸二塁より本塁に好走して一点先取。三塁コーチャーズ・ラインにかがんでいるのはこの時負傷した中京吉田投手。

神宮体育大会出場記念の夕(東京同窓会有志主催)
 昭八・一一一於レインボーグランド
 (前列左) *山岡、松広、*納家、北浦、杉本部長、
 總水校長、中島コーチ、中村、如、平井、樋上、中
 列左、堀田、井上、鳥丸、平古場、馬淵、常念、
 水堀、八岡、北村(後列左) 杉本、松本、青草、
 一人おいて三宅、橋川、福木、高島(*印故人)



昭和八年は創部十周年に当る。この年、大阪予選で優勝戦に日新商と延長十二回、死斗の末漸く制勝した感銘は忘れがたい。
 甲子園では遠来の盛岡中に大勝し、中京商に打ちやられた。たまたまこの一戦で中京吉田投手が負傷(写真参照)、手当の完了まで、タイムの規定超過を認容した本校の標度を賞讃された。これは望外の光栄であり、吉田投手も機ある都度この一事に感謝の念で触れられている。スポーツ精神は無色透明である。



- (中) 練習割当時間を待つ選手(神宮球場中央スタンド) (編者撮影)
 (左列) 水堀、鳥丸、北浦、中村、松広 (右列) 野村、如、納家、常念、山岡、馬淵、平古場
 (下) 野球部創設十周年記念メダル(昭八)

大坂毎日新聞

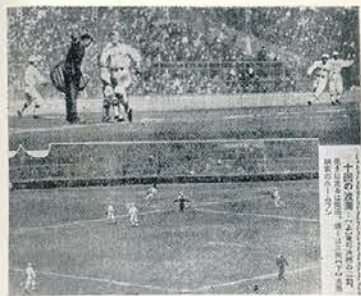
昭和九年四月五日

社新聞日毎阪大 第... 所行發

浪商對享榮の準決勝 明日更にやり直し 熱戦十五合勝敗決せず

本社主催入賞選抜中等學校野球大會第七日浪商對享榮の準決勝戦は午後一時七分甲子園球場で開始されたが、両軍激しい戦いで接戦を繰り返す中、三回裏に浪商が先制し、五回裏に享榮が追いつく。六回裏に浪商が再び先制し、七回裏に享榮が追いつく。八回裏に浪商が再び先制し、九回裏に享榮が追いつく。十回裏に浪商が再び先制し、十一回裏に享榮が追いつく。十二回裏に浪商が再び先制し、十三回裏に享榮が追いつく。十四回裏に浪商が再び先制し、十五回裏に享榮が追いつく。試合は十五合まで続いたが、勝敗は決まらずに明日更にやり直しとなる。

珍しい野球号外(昭九・四・五)



優勝戦(京邦商)に見る二つの劇的シーン(昭九・四・七)

(上) 東邦決勝の二点 (下) 納家のホームラン ~新聞転写~



連続五年プレートに立った納家米吉投手(昭九・四・甲子園)

昭和十七年四月三日、バタール半島に戦死。

納家は本大会で三試合連続投。実に三十四回を投げ通した。長身瘦軀、印象にのこるロイド眼鏡のズレを戻しつつ右肩から投げ下す正確な速球は、小気味のよいものがあつた。在学五ヶ年を投手として押し通した一事に、彼の鉄腕もさることながら、案外デリケートな保肩の注意を怠らなかつた神経を見逃すことが出来ない。ルールの精通者としても三十五年の球史では一、二の研究家であつた。たしかに「納家の浪商」時代を謳われただけの偉材であつた。



全国選抜中等學校大會
準優勝旗レプリカ

選抜出場三回連続(昭和九年)。緒戦で宿敵中京、次いで神一中と退けて準決勝で今に記憶される号外発行の延長十五回、東海の雄享榮無得点引分の再試合がまた鏖戦をけづる白熱戦で、本校にトリプル・ホームの珍記録も生れた。試合は三度名占屋勢の東邦回、二死なから納家の一打は右越本塁打と優勝戦には4-2で快勝。納家・東邦立谷両投手無類の好投に九回無得点。又はもや補回に移つて十回、二死なから納家の一打は右越本塁打となつて均衡は破れたが、その裏、東邦先づ四球、次打者樋上を誤らせ、続く四番村上に1-0後を右中間突破されて2-1に形勢逆転、苦汁をのんだ。